

第2学年 国語科学習指導案

2組 計25人（男子10人，女子15人）

指導者 田代祥太

- 1 単元 せつめいのしかたに気をつけて読み，分かりやすくせつめいしよう
（教材「しかけカードの作り方」「おもちゃの作り方」光村2年上）

2 単元の目標

説明の順序を考えながら読むとともに，順序を表す言葉を使いながら，おもちゃの作り方の手順を書き説明書にまとめ，互いに読み合うことができる。

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	B 書く能力	C 読む能力	言語についての知識・理解・技能
「おもちゃの説明書」をまとめることに意欲的に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 説明書を書くために必要な事柄を集めている。【(1)ア】 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。【(1)イ】 手順に沿ってつながりのある文を書き，説明に合わせた写真を選んでいる。【(1)ウ】 書いた説明書を読み合い，感想を伝え合っている。【(1)オ】 	<ul style="list-style-type: none"> 説明書の構成のよさに気付く，順序を表す言葉や内容のまとまりに気を付けながら文章を読んでいる。【(1)イ】 文の内容と写真を合わせながら読んでいる。【(1)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> 順序を表す言葉を正しく理解し，「おもちゃの説明書」に用いている。【(1)ウ】

4 単元を貫く言語活動

本単元を貫く言語活動として，「B書くこと ウ身近な事物を簡単に説明する言語活動」の「おもちゃの説明書」を書く活動を位置付ける。この「おもちゃの説明書」には，「山下祭り」で1年生に作ってもらうおもちゃについて，「前書き」，「材料と道具」，「作り方」，「遊び方」を書くようにする。また，そのおもちゃの作り方の手順が分かる写真を掲載するようにする。

このように，1年生がおもちゃを作る際，手順を分かりやすく説明している説明書を書くという活動を位置付けることで，子どもが「自分事の問い」をもって，主体的に教材文を読んだり，学習したことを生かして自分の考えを表現したりすることができると思う。

5 単元について

(1) 単元の位置とねらい

子どもたちはこれまでに，「じゅんじょに気をつけて読もう」や「読んで考えたことを話そう」の学習で，事柄の順序を考えながら内容の大体を読んだり，時間を表す言葉（いつ）や，様子（何がどうした），理由（なぜかという）に着目して読んだりすることで，事柄の順序や時間的な順序を意識しながら説明的文章を読むという学習に取り組んできた。

そこで，本単元においては，順序を表す言葉に着目しながら手順を読み，「すること」，「する理由」，「するときの注意」の文に着目し，文章全体のまとまりを考えながら内容の大体を読むこととする。さらに，読んで学んだことを活用し，おもちゃの作り方の手順を，説明書に順序よくまとめることで「事柄の順序を意識しながら読む力」，「事柄の順序に沿って書く力」を身に付けることができるようにする。

ここでの学習は，身近な遊びを説明した文章を，自分の経験と結び付けて読む3学期単元「知っていることとつなげて読もう（教材『おにごっこ』）」の学習へとつながっていく。

(2) 教材について

教材「しかけカードの作り方」は，「しかけカード」の作り方の手順が，順序に沿って書かれた説明的文章である。子どもたちが読んで「作りたい」と意欲をもち，実際に作りながら読む際は，何度も確かめながら繰り返し読む必然性も生まれる内容である。また，文章全体は，「前書き」，「材料と道具」，「作り方」，「使い方」の四つの構成になっており，「作り方」については，「まず」，「つぎに」，「それから」，…と順序を表す言葉を用いながら説明が展開されている。これらのことから本単元に位置付けた言語活動である「おもちゃの説明書」作りを通して，目指す国語の能力を身に付けるために適した教材である。

(3) 子どもの実態（調査日 平成27年9月4日 調査人数25人）

本単元の内容に関わる子どもの実態については、以下のとおりである。（数字は人数）

【調査1】 説明的文章を読むための能力【事柄の順序や内容のまとまりに気を付けて読むことができる】
つなぎ言葉や内容に着目して、時間的な順序を読むことができる。(19) つなぎ言葉や内容に着目して、時間的な順序を読むことがもう少しである。(6)
【調査2】 説明的文章を読むための能力【文章の内容と写真を合わせて読むことができる】
文章と写真を対応させて読むことができる。(20) 文章と写真を対応させることがもう少しである。(5)
【調査3】 構成に関わる能力【事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる】
書く順序を考えて、初め・中・終わりの構成を考えることができる。(17) 書く順序を考えて、初め・中・終わりの構成を考えることがもう少しである。(8)
【調査4】 記述に関わる能力【文と文の続き方に注意しながらつながりのある文章を書くことができる】
文と文のつながりを考えて書くことができる。(20) 文と文のつながりを考えて書くことがもう少しである。(5)

6 指導に当たって

(1) 「自分事の問い」をもつための手立ての充実（単元導入・本時の手立て）【研究内容1】

単元の「つかむ・見通す」過程において、教師が作成した「パッチングエルの説明書」を読みながら、パッチングエルを作る活動に取り組むことで、説明書の大切さに気付くことができるようにする。そして、昨年度の「山下祭り」の写真を提示することで、「1年生にとって分かりやすい『おもちゃの説明書』を作る。」という相手意識・目的意識を明確にすることができるようにする。さらに、二種類の「パッチングエルの説明書」を比較し、友達と話し合うことで、『おもちゃの説明書』にはどんなことを書くのかな。」「どのように書けば分かりやすい説明になるのかな。」といった「単元を貫く『自分事の問い』」をもつことができるようにする。

本時においては、前時までの学習を想起したり、けん玉が完成するまでの動画を視聴したりすることで、子どもが「一単位時間の『自分事の問い』」をもつとともに、解決の見通しをもって主体的に学習に臨むことができるようにする。

(2) 「自分事の問い」の解決につながる「学び合い」（本時の手立て）【研究内容2】

以下のような手立てを工夫することで、子どもが「自分事の問い」の解決につながる「学び合い」に主体的に臨むことができるようにする。

過程	手立て	「自分事の問い」の解決につながる「学び合い」の手立ての工夫
まとめる	目的と視点	「学び合い」の進め方を電子黒板で確認することで、子ども一人一人がペアでの「学び合い」の目的（どんなまとまりで区切って説明すればよいかを考えるため）と視点（どこで区切って書いたかを比べる）をもつことができるようにする。
	方法（教具）	自分が書いた「けん玉の作り方」の文と、生活科で作成したけん玉を合わせながら説明することで、自分の考えを強固、付加・修正することができるようにする。
	教師の関わり	『「学び合い」想定シート』を基に、「学び合い」が停滞しているペアに、互いの考えの違いや、その考えに至った根拠を問い掛けるようにすることで、一人一人の気付きを促し、考えを強固、付加・修正することができるようにする。
広げる	教師の関わり	作業のまとまりを考えながら記述した文や、つなぎ言葉を使って手順を順序よく説明したり、「する理由」、「するときの注意」を書き加えたりしている考えを称賛することで、「しかけカードの作り方」の読みを生かして表現することの大切さに気付くことができるようにする。

(3) 自己の変容を実感できる評価の在り方（単元における手立て）【研究内容3】

以下のような手立てをとることで、子どもが自己の変容を実感できるようにする。

手立て	自己の変容を実感できる評価の工夫
子どもの自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四観点を基にした記述式の振り返りを行う。単元の過程により、観点の重点化を図り、記述した振り返りを書いたノート・ワークシートなどと「単元構想シート」を照らし合わせることで、身に付けさせたい力が確実に定着しているか評価を行い、補充指導・深化指導に生かしていく。 ○ 単元の終末において、完成した「おもちゃの説明書」を読み合い、互いの書き方のよいところを伝え合ったり、分かりやすい説明のために大切なことを振り返ったりすることで、学びの結果と過程を見つめ、自己の変容を実感し、次の単元の学習への意欲を高めることができるようにする。
教師の関わり	「単元構想シート」を基に、身に付けさせたい学習内容に関わる気付きや考えを適宜称賛することで、自己の変容を実感できるようにする。

過程	単元を貫く言語活動	主な学習活動 (自己評価の観点)	<input type="checkbox"/> 単元を貫く「自分事の問い」 <input type="checkbox"/> 一単位時間の「自分事の問い」	教師の指導・評価 ◇ICT活用
つかむ・見通す(2) 調べる・深める(4)	「書くこと」 身近な事物を簡単に説明する言語活動の「おもちゃの説明書」	1 教師が作成した「パッチングエルの説明書」のモデル文を使って、パッチングエルを作り、単元の学習課題をつかむ。㊿	<input type="checkbox"/> おもちゃを作ってもらえるためには分かりやすい説明が必要だな。	◇ 昨年度の「山下祭り」の様子の写真を提示し、1年生におもちゃを作ってもらえるために分かりやすい説明が必要であることに気付くことで、「おもちゃの説明書」に対する興味・関心をもつことができるようにする。
		「山下祭り」で1年生に作ってもらえるおもちゃの作り方を、分かりやすく説明した「おもちゃの説明書」を作ろう。 2 単元の学習課題の解決に向けて課題を出し合い、「自分事の問い」をもち、学習計画を立てる。㊿ 3 「しかけカードの作り方」を読み、書かれた内容や説明の仕方について考える。㊿㊾㊿ ○ 写真を見て、作り方の順序を考える。 ○ 「作り方」を読みながらしかけカードを作る。 ○ 「作り方」を詳しく読み、分かりやすい説明の仕方を整理する。 ○ 説明書全文の構成を見て、説明の仕方のよさを見付ける。 4 「けん玉の作り方」をどのような手順で書けばよいかを考える。㊿㊾㊿【本時】 5 自分が説明するおもちゃの作り方を書く。 6 「前書き」や「材料と道具」、「遊び方」を書き、「おもちゃの説明書」を完成させる。 7 完成した説明書を読み合い、本単元の学習を振り返り、自分の学びを評価する。㊿㊾㊿㊿	<input type="checkbox"/> 「おもちゃの説明書」にはどんなことを書くのかな。どのように書けば、分かりやすい説明になるかな。	○ 説明書のモデル文を使ってパッチングエルを作りながら、説明書のよさを実感することで、どのように書けば分かりやすい説明になるかを考え、「単元を貫く『自分事の問い』」を見いだすことができるようにする。 ○ グループ毎に説明するおもちゃを選び、並行読書のコーナーを設け、どのように作るのかいつでも調べられるようにする。
			<input type="checkbox"/> しかけカードはどうやって作るのかな。 <input type="checkbox"/> 「しかけカードの作り方」の説明はどのようにして分かりやすいのかな。	「おもちゃの説明書」の完成に向けてどのような学習をする必要があるのか、見通しをもって取り組もうとしている。【国語への関心・意欲・態度：発表、ノート】 ○ 写真と本文を結び付けて読み進めることで、しかけカードの作り方をよりはっきりとイメージできるようにする。 ○ しかけカードを作った後、分かりやすい説明の工夫について話し合うことで、順序を表す言葉、「すること」「する理由」「注意すること」などの書きぶりに気付くことができるようにする。
まとめる・広げる(5)			<input type="checkbox"/> 「けん玉の作り方」は、どんなまとまりで区切って説明すればいいのかな。	○ 単元を通して適宜自己評価を行い、自分の学びの結果と過程を振り返ることで、次時の学習に向けて意欲を高めることができるようにする。 言葉や文、写真を手掛かりに、「しかけカードの作り方」の説明のよさについて理解し、事柄の順序を考えながら内容の大体を読むことができる。【読む能力：発表、ノート】
	高める・味わう(1)			<input type="checkbox"/> 自分が説明するおもちゃはどんな手順できているのかな。 <input type="checkbox"/> 「材料と道具」や「遊び方」はどのように書けばいいかな。
				<input type="checkbox"/> 単元の学習を通して、自分は何ができたのかな。

※自己評価の観点 ㊿：分かったこと ㊾：できるようになったこと ㊿：変わったこと ㊿：生かしたいこと

8 本 時 (7 / 12)

(1) 目 標 「けん玉の作り方」について、内容のまとまりに気を付けて文章を書くことができ、大切なことを理解することができる。
 (2) 展 開 □ は教師の言葉掛け 「□」は予想される子どもの反応 ◆ は重点評価項目 ☆ はICT活用の留意点

過程(分)	主な学習活動と予想される子どもの反応	教師の指導
<p>1 見通す (6)</p> <p>これまでの取組を想起し、本時の学習内容について話し合う。</p> <p>前の時間にどんな学習課題を解決して、どんなことが分かりましたか。</p> <p>今日は、どんなことを考えますか。</p> <p>「おもちゃの説明書」を書くために、説明の仕方を考えます。</p> <p>「けん玉の作り方」をどのように説明すればよいかを考えます。</p> <p>2 本時の学習課題を立てる。【「自分事の問い」】</p> <p>「けん玉の作り方」は、どんなまとまりで区切って説明すればいいのかな。</p>	<p>「しかけカードの作り方」を読んで分かりやすい説明の工夫が分かりました。</p> <p>「けん玉の作り方」を説明の仕方を考えます。</p> <p>「けん玉の作り方」をどのように説明すればよいかを考えます。</p>	<p>☆ けん玉が完成するまでの動画を視聴することで、「これまでの学習を生かして『けん玉の作り方』を書いてみたい。」という必要感・切実感をもたせ、「一単位時間の『自分事の問い』をもつことができるようにする。</p> <p>○ 「一単位時間の『自分事の問い』」の解決に向け、どのように学習を進めるのか電子黒板で確認した後、更にペアで確認し合うことで、子ども一人一人が見通しをもって学ぶことができるようにする。</p>
<p>3 調べ (15)</p> <p>解決の見通しを全体やペアで確認する。</p> <p>4 「けん玉の作り方」をカードに書き、どのように説明すればよいか考える。</p> <p>5 「けん玉の作り方」をどのように説明すればよいか、ペアで話し合う。【「学び合い」】</p> <p>分かりやすい説明にするために、どこで区切って書いたら、なぜそのように区切ったのかに注目して比べよう。「学び合い」の目的と視点</p>	<p>「けん玉の作り方」は、どんなまとまりで区切って説明すればいいのかな。</p> <p>わたしは文のまとまりをこのように区切りました。(作り方を読む) 最初の作業はまつぼっくりと毛糸を使うけど、次の作業からは紙コップと毛糸を使うから、ここで文を区切りました。次の文は、紙コップと紙コップを合わせる作業になるから、ここで区切りました。</p> <p>○○さんとわたしの文章は、区切ったところが同じだった。やっぱりこの書き方でよかった。【強調】</p> <p>○○さんは、まつぼっくりに「毛糸をまく」と「毛糸をむすぶ」を一つにまとめて書いているのだね。わたしも同じように書いてみよう。【付加・修正】</p>	<p>○ 生活科であらかじめ作成したけん玉と、けん玉ができるまでの作業工程の写真を提示することで、より分かりやすく手順を書くことができるようにする。</p> <p>☆ 電子黒板で「学び合い」の目的と視点を確認したり、手順や方法を示したりすることで、見通しをもって「学び合い」に取り組むことができるようにする。</p> <p>○ 「けん玉の作り方」の文章をどこで区切って書いたか、友達と比較し、理由を明確にしながら説明することで、互いの考えを強固、付加・修正できるようにする。</p> <p>○ 「学び合い」が停滞しているペアに対して、互いの考えの違いを確認したり、互いがその考えに至った理由を問い掛けたりすることで、「学び合い」を活性化することができるようにする。</p> <p>○ 作業のまとまりを考えながら記述した文や、順序を表す言葉や作業の内容を補足する文(する理由・するときの注意)を称賛することで、「しかけカードの作り方」の読みを生かして表現することの大切さに気付くことができるようにする。</p>
<p>6 広げ (17)</p> <p>ペアでの「学び合い」の結果を全体で検討し、「けん玉の作り方」について考える。</p> <p>「けん玉の作り方」はどんなまとまりで区切って説明すればいいでしょうか。なぜ、そのように書いたのか理由を説明しましょう。</p>	<p>文のまとまりは作業が変わるところや新しい材料や道具が出てきたときに区切った方が分かりやすくなります。</p>	<p>◆ 「けん玉の作り方」について、内容のまとまりに気を付けて、文章を書くとき、大切なことを理解することができる。</p> <p>【書く能力：発言、ワークシート】</p> <p>○ 「学び合い」や全体で検討した結果を基に、何が分かっただのか(言語内容)、どうしてできたのか(言語方法)考えした後、四観点を基に振り返りを書くことで、子ども一人一人が自己の変容を実感することができるようにする。</p>
<p>7 高め (7)</p> <p>本時の学習について分かったことをまとめる。</p> <p>作業のまとまりごとに文を区切って書くと、分かりやすく説明することができる。</p> <p>8 「自分事の問い」をもって学んだ結果と過程を振り返る。【自己評価】</p> <p>今日の学習を振り返りましょう。</p> <p>④分かったこと⑤できるようになったこと</p> <p>④友達と学び合っただけで変わったこと</p> <p>④次の学習や今後に生かしたいこと</p>	<p>④ 作業のまとまりごとに文を区切ればいいことが分かりました。</p> <p>⑤ 「けん玉の作り方」をまとまりに気を付けて書くことができました。</p> <p>④ 初めは○○と思っていたけど、友達の考えを聞いて○○の方がいいと分かりました。</p> <p>④ 今日学習した説明の仕方を、次の「おもちゃの説明書」作りに生かしたいです。</p>	<p>○ 「学び合い」や全体で検討した結果を基に、何が分かっただのか(言語内容)、どうしてできたのか(言語方法)考えした後、四観点を基に振り返りを書くことで、子ども一人一人が自己の変容を実感することができるようにする。</p>